

此段私儀は浪人者にて、古來より木村と苗字相名乗來、帶刀致當時之相撲年寄仲間加入致罷在、行司職業之義は、私并式守伊之助兩人共、先祖より細川越中守様御家來、吉田追風より免許貰請候儀にて、伊之助先祖も其砌より式守と苗字相名乗、帶刀致是又浪人者にて其外之行司共は、一切帶刀仕儀は無御座候、尤身分之儀に付、御願之儀有之節は、御奉行所様へ御願申上候儀に御座候、

右御尋に付奉申上候以上

文政十亥年十一月晦日

深川永代寺門前仲町

忠兵衛店

相撲行司

家主 庄之助

忠兵衛

名主傳次煩付代  
五人組 藤助

藤助

御番所様

〔市中取締書留〕寅○天保十三年十二月十四日

越前守殿御渡

覺

書面名主理左衛門外貳人伺之通、其身一代苗字差免、市中名主共上席可被申渡候事、

〔近世畸人傳〕内藤平左衛門

此人篤實類なくて學を好めり、されば是のみならず、人を救ひ、あるひは道橋を造り、慈悲を行ふこと多ければ、領主○陸奥も賞し給ひて、苗字帶刀をも免され、士に准へらるゝといふ、

〔孝義錄〕陸奥孝行者千坂仲内